# 職業実践専門課程等の基本情報について

	_ 11/ 54			日	10.	長名	Ŧ .	101-0051	所在地			
東京情報クリエイタ 専門学校		平成:	31年2月1	9日	徳田	文秀	(住所)		日神保町一丁目50番	地		
設置者名		設立	認可年月	日	代表	者名			所在地			
学校法人大原	学園	昭和	154年4月	1日	中本	毎彦		101-0065 東京都千代田区西神	申田一丁目2番10号			
分野		忍定課程名			認定学科名	Ź		)3-3292-6266 ]士認定年度	高度専門士認定	生度  職	業宝跘恵	門課程認定年原
工業		<u>。足味性石</u> 業専門課程	₽		リエイター	学科		2(2020)年度	同及守门工心之	.千及 収		<u>  1   旅程 応足 年 /</u> (2022)年度
					ラフィックデ 作 Web制化				ター業界で活躍できる。	 し材を育成する		
学科の目的	CG, Web 0		な知識・技	<b>を能もさること</b>					習を行っていく。さらに、			
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		、検定試験と							ゲーム大賞や企画コン 哉として日本ビジネス技			
修業年限	昼夜	全課程の修	了に必要 単位		数又は総	講	義	演習	実習	実験		実技
2	昼間	※単位時間、単	単位いずれ	1,710	単位時間	150	) 単位時間	120 単位時間	1,590 単位時間	0 単位	拉時間	0 単位時間
年		かに記入			単位		単位	単位	単位	単位	ž	単位
生徒総定員	生徒第	<b>ミ員(A)</b>	留学生	数(生徒実員の	内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率				
80 人	18	,		1	人	6	5 %	0 %				
33 11	■卒業者		:		11		<del></del>					
	- 970 194 116	望者数(D)	:		11		Ļ.					
	■就職者 ■地元就	<sub>致(E)</sub> 職者数(F)	:		8 7		<del></del>					
	■就職率	(E/D)	- ±1, =1.	reful & /= · ·	73		%					
	■就職者	に占める地元	τ就職者の	)割合 (F/E	) 88		%					
	■卒業者(	こ占める就職	者の割合	(E/C)								
	■進学者	数			73 0		人					
就職等の状況	■その他				<u>~</u>							
	  アルバイト											
	, , , , , , , , ,											
	(令和	6 <sup>£</sup>	<b>F</b> 度卒業者	に関する令和	和 <b>7</b> 年5月1	日時点の情報	股)					
	■主な就	職先、業界等	等									
	(令和6年度		<b></b> (44\ (44	\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-	<b>-</b>	- +/\ <del>24</del> CO E014	M (M) - M -	**** /> /b				
	(株)土1⊥1	「エス、エレ	ノス(株)、(材	<b>リコアスタツ</b>	フィング、ニ	二位宝印刷作	株)、(株)シグ・ <del>-</del>	アサイン 他				
		評価機関等						無				
第三者による		評価機関等、例えば以下(										
第三者による 学校評価	※有の場合					受審年月:		評	価結果を掲載した ームページURL			
学校評価	※有の場合	、例えば以下に				受審年月:		評	価結果を掲載した ームページURL			
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合	、例えば以下( 評価団体:	について任	意記載	l/tokyo_it/o	受審年月: course/crea		評				
学校評価 当該学科の	※有の場合	、例えば以下( 評価団体:	について任	意記載	l/tokyo_it/			評				
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https://w	、例えば以下( 評価団体:	について任 ac.jp/senr	意記載	l/tokyo_it/			評				
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https://w	、例えば以下I 評価団体: ww.o-hara.a	について任 ac.jp/senr	意記載	l/tokyo_it/			評		1,710 単位	立時間	
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https://w	Ww.o-hara.a お な時間による 総授業時数	について任 ac.jp/senr 算定)	意記載 mon/schoo			ator/	評		1,710 単位 360 単位		
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https://w	、例えば以下I 評価団体: www.o-hara.a 時間による3 総授業時数	について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等	意記載 mon/schoo sと連携した		course/crea ・実技の授業	ator/	評			立時間	
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https://w	、例えば以下I 評価団体: ww.o-hara.a z時間による乳 総授業時数	について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等	意記載 mon/schoo	実験・実習	course/crea ・実技の授業	ator/	評		360 単位	立時間立時間	
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https://w	、例えば以下I 評価団体: ww.o-hara.a z時間による乳 総授業時数	について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等 うち必修授	意記載 mon/schoo  をと連携した を連携した  と連携した	実験・実習演習の授業	course/crea ・実技の授業 時数	ator/ 業時数	译		360 単位	立時間立時間	
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https://w	、例えば以下I 評価団体: ww.o-hara.a z時間による乳 総授業時数	について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等 うち必修授	意記載 mon/schoo を連携した と連携した 業時数 うち企業等	実験・実習演習の授業と連携した	course/crea ・実技の授業 時数	ator/ 実時数 実習・実技の	译		360 単位 0 単位 360 単位	立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合 https://w	、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a 時間による3 総授業時数	ic.jp/senr 算定) うち企業等 うち企業等	意記載 mon/schoo  をと連携した 実時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習演習の授業と連携したと	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・	ator/	译		360 単位 0 単位 360 単位 360 単位	立時間立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a 時間による3 総授業時数	ic.jp/senr 算定) うち企業等 うち企業等	意記載 mon/schoo  をと連携した 実時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習演習の授業と連携したと	- 実技の授業 ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	ator/	译		360 単位 0 単位 360 単位 360 単位	立時間立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携機した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a 時間による3 総授業時数	について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等 うち必修授 (うち企業	意記載 mon/schoo  をと連携した 実時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習演習の授業と連携したと	- 実技の授業 ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	ator/	译		360 単位 0 単位 360 単位 360 単位	立時間立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等とと連携が決況	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a. お授業時数	について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等 うち必修授 (うち企業	意記載 mon/schoo  をと連携した 実時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習演習の授業と連携したと	- 実技の授業 ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	ator/	译		360 単位 360 単位 360 単位 360 単位 0 単位	立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a. おります。 数では、 数では、 数では、 数では、 ない	について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等 うち必修授 (うち企業	意記載 mon/schoo にと連携した。 楽時数 うち企業等 いきと連携した。	実験・実習の授業と連携した。と連携した。たインター	・実技の授業 ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの持	ator/	译		360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 0 単位	立時間 立時間 立時間 立 立時間 立 立 時間 立 立 古 時間 立 立 立 古 時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a 総授業時数 による第 総単位数	について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等 うち企業等 (うち企業 定)	意記載 mon/schoo にと連携した。 実時数 うち企業等 うち企業等 と連携した	実験・実習の授業と連携した。と連携した。 たインター	・実技の授業 ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの持	ator/	译		360 単位 360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位	立時間立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等を連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.a 時間による引 総授業時数	について任 ic.jp/senr 算定) うち企業等等 ううち企業等等 (うち企業等等 を企業等等を企業等等をできる。	意記載 mon/schoo  を連携した 業時数 うち企業等 うち企業等と連携し  と連携した	実験・実習の授業と連携した。と連携した。たインター	・実技の授業 ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの持	ator/	译		360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 0 単位	立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等を連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.a 時間による引 総授業時数	について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等 うち企業等 (うち企業 定)	意記載 mon/schoo  Sと連携した 業時数 うち企業等 うち企業等と連携し  にと連携した	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習の単位	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の シシップの持	ator/ 楽時数 実習・実技の 砂提業時数 受業時数)	P 力授業時数		360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位	立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立立時間  立立立立	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等を連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.a 時間による引 総授業時数	について任 ic.jp/senr 算定) うち企業等等 ううち企業等等 (うち企業等等 を企業等等を企業等等をできる。	意記載 mon/schoo  le と連携した 業時数 うち企業等 と連携した とと連携し たとと連携し たとと連携し たとと にとと にと にと にと がある には に たと に と に た に と に た に た に た に た に た に	実験・実習の授業 と連携した。 と連携した。 たインター 実験・実習の単位 と連携した。	course/crea ・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の事の ・実技の単位 な をの実験・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ator/ 業時数 実習・実技の シ授業時数 受業時数)	P 力授業時数		360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位	立立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携機した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.a 時間による引 総授業時数 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	について任 ic.jp/senr 算定) うちな企業等等 (うちな企業等等 (うちな企業等等) うちな企業等等	意記載 mon/schoo  をと連携した 業時数 うち企業等 と連携した とと連携し  たとと連携し  たとを連携し  たとを連携し  たととを をときを をときを をときる  たととを をときる  たととを をときる  たととを  たとを  たととを  たとを  たを  た	実験・実習の授業 と連携した。 と連携した。 たインター 実験・実習の単位 と連携した。 と連携した。 とと連携した。	course/crea ・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の事間 ・実技の単位 数 必修の実験・必 数	### ### ### ### ### #################	P 力授業時数		360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位	立立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等をと連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.a 時間による引 総授業時数 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	について任 ic.jp/senr 算定) うちな企業等等 (うちな企業等等 (うちな企業等等) うちな企業等等	意記載 mon/schoo  Le連携した 業時数 うち企業等 と連携した とと連携し たとと連携し たとと連携し たとと連携し たとと連携し たとと連携し たとと連携し たとと連携し たらと連携した たとと連携した たとと を記述する たと を記述する たる を記述する たる たまずる たる たまずる たる たまずる たまずる たまずる たまずる	実験・実習の授業 と連携した。 と連携した。 たインター 実験・実習の単位 と連携した。 と連携した。 とと連携した。	course/crea ・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の事の ・実技の単位 な をの実験・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	### ### ### ### ### #################	P 力授業時数		360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位	立立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等をと連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.a 時間による引 総授業時数 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	について任 ic.jp/senr 算定) うちな企業等等 (うちな企業等等 (うちな企業等等) うちな企業等等	意記載 mon/schoo  Le連携した 業時数 うち企業等 と連携した とと連携し たとと連携し たとと連携し たとと連携し たとと連携し たとと連携し たとと連携し たとと連携し たらと連携した たとと連携した たとと を記述する たと を記述する たる を記述する たる たまずる たる たまずる たる たまずる たまずる たまずる たまずる	実験・実習の授業 と連携した。 と連携した。 たインター 実験・実習の単位 と連携した。 と連携した。 とと連携した。	course/crea ・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の事間 ・実技の単位 数 必修の実験・必 数	### ### ### ### ### #################	P 力授業時数		360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位	立立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.a 時間による乳 総授業時数	について任 ic.jp/senr 算定) うち企業等等 (うち企業等等等) ううち企業等等等 (うち企業等等)	意記載 mon/schoo  Sと連携した 主楽時数 うち企業等 と連携した うち企業等と連携し たたと さらと連携した たち企業等と連携し たち企業等とは がある企業等 は位数 うちな企業等 は位数 うちな企業等	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習の単位 と連携した。 と連携した。 と連携した。 と連携した。	course/crea ・実技の授事 時数 必修の実験・ 必修の実験・ 次をの演習の ・実技の単位 数 必修の実験・ 数	### ### ### ### ### #################	P 力授業時数		360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位	立立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 全業等と連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	<ul><li>・ 例えば以下</li><li>・ 評価団体:</li><li>・ ww.o-hara.a</li><li>・ 時間による3</li><li>・ 総授業時数</li><li>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>	について任任にjp/senr 算うううう ううううち (う) っちな企业を修授 等等を企企を必修を なのでである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいるでは、	意記載 mon/schoo  sと連携した と連携した と楽時数 うち企業等 うち企業携し  たと連携した たと連携した たと連携し たとと連携し たとと連携し たととが な企業等 とととが ないません ないまする ないます	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習位と連携したたたインター たと連携したたたインター	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ の次 のの がある。 ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の	まtor/ 実間・実技の 受業時数 受業時数) 立数 実習・実技の の単位数 単位数	D授業時数 D単位数	A ~- YUR L	360 単位 360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	立立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 全業等と連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a 時間による 総授楽時数 数による第 のの修学す。 のの修学す。	について任任 ic.jp/senr 算 5 5 5 5 6 7 7 7 9 5 5 5 6 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9	意記載 mon/schoo  sと連携した と連携した と楽時数 うち企業等 うち企業携し  たと連携した たと連携した たと連携し たとと連携し たとと連携し たととが な企業等 とととが ないません ないまする ないます	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習位と連携したたたインター たと連携したたたインター	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ の次 のの がある。 ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の	まtor/ 実間・実技の 受業時数 受業時数) 立数 実習・実技の の単位数 単位数	P 力授業時数	A ~- YUR L	360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位	立立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 全業等と連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	<ul><li>・ 例えば以下</li><li>・ 評価団体:</li><li>・ ww.o-hara.a</li><li>・ 時間による3</li><li>・ 総授業時数</li><li>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>	について任任 ic.jp/senr 算 5 5 5 5 6 7 7 7 9 5 5 5 6 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9 9 7 9	意記載 mon/schoo  sと連携した と連携した と楽時数 うち企業等 うち企業携し  たと連携した たと連携した たと連携し たとと連携し たとと連携し たととが な企業等 とととが ないません ないまする ないます	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習位と連携したたたインター たと連携したたたインター	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ の次 のの がある。 ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の	まtor/ 実間・実技の 受業時数 受業時数) 立数 実習・実技の の単位数 単位数	D授業時数 D単位数	A ~- YUR L	360 単位 360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	立立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した況 (A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a 時間による 総授楽時数 数による第 のの修学す。 のの修学す。	について任任 はc.jp/senr 算 ち な 企 変 *	意記載 mon/schoo  と連携した と連携した 業うう等と 連携した では、業等 ものな業等 した には、大きな・大きな・大きな・大きな・大きな・大きな・大きな・大きな・大きな・大きな・	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習位と連携したたたインター たと連携したたたインター	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ の次 のの がある。 ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の	ますの/ 実時数 実習・実技の シ授業時数 受業時数) 立数 実習・実技の シ単位数 単位数)	D授業時数 D単位数	ームページUR L	360 単位 360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	立立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業署等のと連携した況 (A、に記入)	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下: www.o-hara.a  は時間による  総授業時数  こ数  総単位数  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	について任任について任任についてについてについてについてについてに対しては、「p/senrip すっちっちったのを、業等を担当している。「ないでは、ないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	意記載 mon/schoo  をと連携した と楽時数 うち企業等 うち企連携し たと連携した とと連携した とと連携した とと連携した とと連携した とと連携した とと連携した るる者等	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習位と連携したたたインター たと連携したたたインター	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ の次 のの がある。 ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の	ます ままな まままな まままな まままな まままな まままな まままな まま	D授業時数 D単位数	ームページURL  第1号)	360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	立立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL ・業等等のいた況(A、に記入)	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a 時間による 総授業時数 総単位数 での修上とも での修上と士中の での修上と での修上と での修上と での のが上と での のが にの での のが にの にの のが にの にの のが にの にの のが にの	について任任について、	意記載 mon/schoo  をと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたちと連携したたちと連携したたちをもと連携している。 なるなのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習位と連携したたたインター たと連携したたたインター	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ の次 のの がある。 ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の	ます ままなの まままな ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ま	D授業時数 D模業時数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	- エページURL 第1号) 第2号) (第3号)	360 単位 360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 0 単位 4位 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40	立立時間	
学校評価 当該学科のホージ URL 業等等の実にずれか に記入)	※有の場合 https://w (A:単位	(例えば以下) (例えば以下) (例えば以下) (科学) (科学) (科学) (科学) (科学) (科学) (科学) (科学	について任任について、	意記載 mon/schoo  をと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたちと連携したたちと連携したたちをもと連携している。 なるなのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習位と連携したたたインター たと連携したたたインター	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ の次 のの がある。 ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の	まtor/ 実習・実技の 対象 実習・実技の 受業時数) 立数 実習・実技の の単位数 単位数 単位数 (専修学科 (専修学科 (専修学科 (専修学科 (専修学科 ( 専修学科 ) ( ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	D授業時数  D単位数  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項	- エページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	360 単位 360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 0 単位 5 人 0 人 0 人	立立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等のようでは、 では、 では、 では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a 時間による 総授業時数 総単位数 での修上とも での修上と士中の での修上と での修上と での修上と での のが上と での のが にの での のが にの にの のが にの にの のが にの にの のが にの	について任任について、	意記載 mon/schoo  をと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたちと連携したたちと連携したたちをもと連携している。 なるなのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習位と連携したたたインター たと連携したたたインター	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ の次 のの がある。 ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の	まtor/ 実習・実技の 対象 実習・実技の 受業時数) 立数 実習・実技の の単位数 単位数 単位数 (専修学科 (専修学科 (専修学科 (専修学科 (専修学科 ( 専修学科 ) ( ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	D授業時数 D模業時数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	- エページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	360 単位 360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 0 単位 4位 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40	立立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL を書等のいた況のに記入) に記入)	※有の場合 https://w (A:単位	(例えば以下) (例えば以下) (例えば以下) (科学) (科学) (科学) (科学) (科学) (科学) (科学) (科学	について任任について、	意記載 mon/schoo  をと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたちと連携したたちと連携したたちをもと連携している。 なるなのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習位と連携したたたインター たと連携したたたインター	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ の次 のの がある。 ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の	まtor/ 実習・実技の 対象 実習・実技の 受業時数) 立数 実習・実技の の単位数 単位数 単位数 (専修学科 (専修学科 (専修学科 (専修学科 (専修学科 ( 専修学科 ) ( ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	D授業時数  D単位数  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項	- エページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	360 単位 360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 0 単位 5 人 0 人 0 人	立立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等等のいた況か に記入) た別の属性(で記)	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a 時間による 総授業時数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	について任任について、	意記載 mon/schoo  をと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたちと連携したたちと連携したたちをもと連携している。 なるなのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	実験・実習の授業と連携した。 と連携したたインター 実験・実習位と連携したたたインター たと連携したたたインター	course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ の次 のの がある。 ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の ・実技の	まtor/ 実習・実技の 対象 実習・実技の 受業時数) 立数 実習・実技の の単位数 単位数 単位数 (専修学科 (専修学科 (専修学科 (専修学科 (専修学科 ( 専修学科 ) ( ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	D授業時数  D単位数  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項	- エページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	360 単位 360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	立立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL を書等のいた況のに記入) に記入)	※有の場合 https://w (A:単位	、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a 時間による3 総授業時数 (本) 専担資業時数 (本) 専担等学年以 (本) 等・等学年 (本) 修士の会 (本) をの他 (本) をの他 (本) をの他	について任任 pp jo	意記載 mon/schoo  sとと連携したたと 連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携したたちを連携といるのである。 を表するなが、 をまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	実験・実習を決議した。 と連携した たてた 期間とを を を を を を を を を を を を を を を を を を を	course/crea ・実技の授業 ・実技の授業 ・ 大きなのでである。 ・実技のでは、 ・ 大きなのでである。 ・ 大きなのでは、 ・ 大きなのでは、 ・ 大きないでは、 ・ 大きない	まtor/ 実習・実技の シ受業時数) ・実習・実技の 受業時数) ・実質・変数 ・実性位数) (専修学科 (専修学科 (専修学科	D授業時数  D単位数  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項	ームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第3号) 第4号) 第5号)	360 単位 360 単位 360 単位 360 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	立立時間	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

教育課程編成委員会は、専攻分野に関する企業、関係団体等からの意見を十分に活かしつつ、より実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施 するにあたり、次の方針をもとに取り組む。

- ①業界の実務に関する知識、技能を十分に把握するとともに、最新の技術動向についても変化に対応できるよう情報収集を図る。
- ②開発した教育プログラムについて、授業内容・方法・授業回数等、実務家・有識者の視点からの意見等を収集する。
- ③教員向けの研修について、知識・技術習得に向けた方法等、意見を収集する。
- ④学生の成績評価結果を踏まえ、教育プログラムの改善に向けて意見収集を行い、教育の質の向上を図る。

## (2)教育課程編成委員会等の位置付け

- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にしたうえで教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全体の教育課程編成に活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である教務責任者が参加することで、企業等の委員から提言された課題、改善提案を速 やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
小澤 賢侍		令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	1
小川 美隆	株式会社養鶏場 代表取締役社長	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	3
杉山 雅信	東京情報クリエイター工学院専門学校 課長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31(2年)	_
佐藤 宏司	東京情報クリエイター工学院専門学校 主任	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	_
井坂 翔	東京情報クリエイター工学院専門学校 主任	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

# (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7~8月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月1日 16:00~18:00

第2回 令和7年3月11日 16:00~18:00

第1回 令和7年7月28日 16:00~18:00

# (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

①令和6年8月1日 教育課程編成委員会

■授業進行状況の報告

■広告を学ばせるうえで有用、スキルアップに効果的なコンテストについて

(委員からの意見)

一般的な広告コンテストだと朝日広告賞などあるが、広告+デザインという点では企業からの課題(テーマ)をもとに進めていく学生向けのコンテストとして、日本広告制作協会が実施している学生クリエイティブアワードが良いのではないか。

(今後の教育について)

抽象的なテーマではなく、いくつかの企業から出させる具体的な課題に取り組むというのは、教育的にも意味があることと感じている。応募期間が9月~11月に当たるため、その時期の授業科目とスキルの習熟状況と照らし合せて、取り組むかどうかを判断したい。

#### ②令和7年3月11日 教育課程編成委員会

■授業進行状況の報告

■タイポグラフィー、文字にも持たせるにはどうすれば良いか

(委員からの意見)

習字」を題材にアナログな授業を実施してはどうか。英語のタイポグラフィーなどがトレンドではあるが、実際に筆を持たせて、文字が「踊る」「動く」感覚を体感させることで表現の幅が広がる。「大河ドラマ」のタイトルロゴなど活用事例は多くあるので、参考になるのではないか。 (今後の教育について)

DTPデザインのなかでアナログによる文字デザイン課題を導入していく。

#### ③令和7年7月28日 教育課程編成委員会

- ■授業進行状況の報告
- ■Web広告、Webデザインのトレンドについて

(委員からの意見)

3DイラストやCGデザインを取り入れたWebがトレンドになっていると思うが、コースの学習としては学生自身が作りたいものは何なのかを考え、制作にあたっての問題を自ら解決する力を高めることの方が現場での仕事に役立つと思われます。
(今後の教育について)

発想力・表現力の幅を増やせるよう、基礎力となるデザインに関する知識及び技術習得を徹底する。また、課題発見や解決のヒントとなるよう校外学習なども検討する。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

## (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

多様化するクリエイター業界に対応できる実践力のある人材を育成するため、ゲーム制作、CG映像制作、Web・グラフィックデザインの それぞれの分野・職種で、経験豊富な企業と連携し必要な知識・技術を習得することを基本方針とする。

#### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ゲーム制作、CG映像制作、Web・グラフィックデザインのそれぞれの分野の授業科目に関して、企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記について授業内容の質向上のために連携している。

- ① 実習授業内容のアドバイス
- ② 当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③ 授業方法に関する教員への指導
- ④ 学生の学修習熟状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
制作実習I	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	オリジナル作品を制作する。	株式会社養鶏場
制作実習Ⅱ	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	オリジナル作品を制作する。	株式会社養鶏場
制作実習Ⅲ	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	オリジナル作品を制作する。	株式会社養鶏場
制作実習IV	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	オリジナル作品を制作する。	株式会社養鶏場

# 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

# (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技術を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常にその時必要な実務に関する知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。なお、これらは「大原学園 教職員研修規程」の目的に定めており、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力を高めるため環境を整備し、所属長の指示または本人の意思により公平に研修などを受講する機会を与えるものとし、計画的、組織的、継続的に取り組んでいくこととする。校内、校外において企画する研修は下記の通り。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル等
- ②関連業界の実務家講師を招いた研修会の実施および、外部研修会の参加
- ③教育本部による知識技能及び指導力の修得・向上のための研修

## (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 国境を超えて輝くデザイン 連携企業等: - 慢社団法人コンピュータエンターティンメント協会

期間: 令和6年8月23日(金) 対象: 科目指導担当教員

内容 世界市場で活躍するためのUI/UXデザインの作り方やチーム作りの戦略を学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 発達障害に対する理解と支援について 連携企業等:東京都私学財団

期間: 令和6年12月24日(火) 対象: 型内科立字校の教職

内容 発達障害を抱える子どもたちの行動や意味を正しく理解し、適切に支援することを学ぶ

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: キャラクターの魅力を引き出すアニメーションと演出技法 連携企業等: -版社団法人コンピュータエンターティンメント協会

期間: 令和7年7月23日(月) 対象: 科目指導担当教員

内容 モーション、イベントの作り方、アプローチをコンシューマゲームの制作プロセスから学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: コーチング研修 連携企業等:東京都私学財団

期間: 令和7年8月25日(月)、26(火) 対象: 過 対象: 過 対象: 過

内容 教員を対象とし、学生の育成・指導の方法を学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

# (1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が揃っているかについて、学校関係者評価委員会を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以 降の学校運営に反映させ改善を図る。 (2) | 車体学校における学校運営に反映させ改善を図る。

2)「専修学校における学校評価ガイドライン ガイドラインの評価項目	ン」の項目との対応 学校が設定する評価項目
カイドグインの計画項目	①理念・目的・育成人物像は定められているか。
(1)教育理念•目標	②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。
(2)学校運営	①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3)教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行なう事ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。
(4)学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(6)教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行なわれているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。
(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行なわれているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	_
((10)及び(11)については任意記載。	

# (3)学校関係者評価結果の活用状況

ITエンジニアやクリエイターが利用するICTツールの必要スキルについて、学校に期待する教育指導について、ご意見を頂き、各学科で特性や運用方法を踏まえ指導することになった。また、近年多様化する学生の悩みについて相談を行った結果、企業での取り組みなど数多くの事例を教えて頂いた。これらの話から教員の専門知識の向上や専用の窓口など、中長期的で慎重な対応を行う必要性があり、引き続きの検討項目となった。

# (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
木田 徳彦	一般社団法人ソフトウェア協会	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	業界団体
長谷川 長一	株式会社ラック	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
加邉 徹	株式会社アイ・エス・ビー	令和7年5月1日~ 令和9年3月31(2年)	企業等委員
筑紫 歩	LINEヤフ一株式会社	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
芝原 賢司	株式会社サイド・シー	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
小澤 賢侍	公益財団法人画像情報教育振興協会	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	業界団体
小川 美隆	株式会社養鶏場	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
藤田 一鷹	フリーデザイナー	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
千葉 雄大	株式会社デジタルワークスエンターテインメント	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ · 広報誌等の刊行物 · その他( ))

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

実践的な教育における成果を広く周知することにより、企業等に教育活動、学校運営状況に関する理解を促し、企業等の連携の協力推進を図る。これにより、教育活動及び学校運営における改善を活発に行い、社会全体の信頼に繋げていく。情報の公表を通じて、学校教育の質の確保と向上を図るために、積極的に情報を提供することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目								
(1)学校の概要、目標及び計画	①学校の概要②目標・方針・特色③所在地、連絡先④学校の沿革								
(2)各学科等の教育	①カリキュラム、時間割、目指す資格 ②検定、資格取得・検定試験合格実績 ③卒業生の進路								
(3)教職員	各学科の担当教員紹介								
(4)キャリア教育・実践的職業教育	各学科の実習紹介								
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事②クラブ活動								
(6)学生の生活支援	学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声)								
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等の紹介								
(8)学校の財務	学園の財務状況公開								
(9)学校評価	学校関係者評価結果								
(10)国際連携の状況	留学生の募集								
(11)その他	_								

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/information/11.pdf 公表時期: 令和7年10月6日

# 授業科目等の概要

	(工業専門課程 クリエイター学科 (Web・グラフィックデザインコース))         分類															
	必	択	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・	授業時	単位		演	5 <u> </u> 実験・実習		<u>所</u> 校	専		企業等との
	修	必修	選択			学期	数	数	義	習	実技	内	外	任	任	連携
1	0			デジタル表現 I	クリエイティブ制作の分野で代表的な制作 ツールであるPhotoshopの基礎を習得する	1 前	30	1			0	0		0		
2	0			課題制作I	デザイン課題の制作を行う	1 後	30	1			0	0		0		
3	0			検定対策	色彩検定の過去問を中心とした試験対策を 行う	1 後	30	1		0		0		0		
4	0			キャリアデザ イン I	就職活動とは何か、から必要なものを理解 して準備する	1 後	30	1	0			0		0		
5	0			基礎デザイン I	作図法の基本や形の捉え方を学ぶ	1 前	90	3			0	0			0	
6	0			基礎デザイン Ⅱ	立体図法の捉え方や物の形を正確に表現す る方法を学ぶ	1 後	90	3			0	0			0	
7	0			プレゼンテー ション	プレゼンテーションの基礎としてビジネス コミュニケーションと文章構成を学ぶ	1 後	30	1			0	0		0		
8	0			デジタル表現 Ⅱ	デザイン表現の基礎 とIllustratoの基礎オペレーションの習得	1 前	30	1			0	0		0		
9	0			デザイン概論 I	ビジュアルコミュニケーションの基礎とし て造形力の習得する	1 前	30	2		0		0		0		
10	0			デザイン概論	基礎知識の習得として構成力、表現力を修 得する	1 後	30	2		0		0		0		
11	0			ビジュアル表 現技法	ビジュアルメッセージの視覚化として、ヒ ストリー&ムーブメント、写真、発想力を 学ぶ	1 後	30	2		0		0		0		
12	0			Webデザイン I	HTML・CSS基礎の習得 + Webデザイン基礎の 習得する	1 前	90	3			0	0		0		

13	0		Webデザイ ンⅡ	JavaScript、jQuery基礎およびWebデザイン (UI) 応用を学ぶ	1 後	90	3			0	0	0		
14	0		グラフィック デザイン I	グラフィックデザイン制作にて必要になる 基礎知識と基本オペレーションの習得を行 う		120	4			0	0	0		
15	0		グラフィック デザインⅡ	グラフィックデザイン制作の基本知識から 実制作を通して各種媒体制作のスキルを学 ぶ	1 後	90	3			0	0	0		
16	0		DTPデザイン	タイポグラフィ(文字組)基礎知識の習得 および印刷知識の習得する	· 1 前	30	1			0	0	0		
17	0		ポートフォリ オ I	就職活動にてのPRツールであるポートフォリオの制作準備をする	1 後	30	1			0	0	0		
18		0	作品制作 I	コンテスト作品を制作する	1 前	60	2			0	0	0		
19		0	作品制作Ⅱ	コンテスト作品を制作する	1 後	60	2			0	0	0		
20	0		課題制作Ⅱ	オリジナル作品の企画、制作を行いプレゼ ンテーションする	2 前	90	3			0	0	0		
21	0		キャリアデザ インⅡ	就職活動に臨むための具体的な方法をレク チャーし、準備や模擬練習を行う	2 前	30	1	0	Δ		0	0		
22	0			就職活動に臨むための具体的な方法をレク チャーし、準備や模擬練習を行う	2 後	30	1	0	Δ		0	0		
23	0		クロスメディ ア演習	動画を用いたシェアメディアの理解を行う	2 前	60	2		0		0		0	
24	0			エディトリアルデザインにおける制作時の 基本知識と実制作を通して制作スキル学ぶ	2 前	60	2			0	0	0		
25	0		Webデザイ ンⅢ	フレームワーク (Bootstrap) やCMS (WordPress)を学ぶ	2 前	90	4			0	0	0		
26	0		グラフィック デザインⅢ	グループ制作や企業課題等の実践的な実習 を通して実務に必要な制作スキルを習得す る	2 前	60	3			0	0	0		
27	0			マーケティングからのブランディングデザ インプロセスを通じたデザインを学ぶ	2 後	90	4			0	0	0		

28	0		ポートフォリ オ Ⅱ	就職活動にてのPRツールであるポートフォ リオの制作準備をする	2 前	60	2			0	0		0		
29	0		ビジュアルデ ザイン実習	希望職種に応じた作品制作実習を行う	2 後	60	2			0	0		0		
30	0		制作実習I	オリジナル作品を制作す	2 後	90	3			0	0		0		0
31	0		制作実習Ⅱ	オリジナル作品を制作す	2 後	90	3			0	0		0		0
32	0		制作実習Ⅲ	オリジナル作品を制作す	2 後	90	3			0	0		0		0
33	0		制作実習Ⅳ	オリジナル作品を制作す	2 後	90	3			0	0		0		0
34		0	応用制作I	コンテスト作品を制作する	2 前	60	2			0	0		0		
35				コンテスト作品を制作する	2 後	60	2			0	0		0		
		合	<u>=</u>	35	杉	·目		7	7(2,	130)	単位	<u>i</u> (	単位	時間	1)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	<u> </u>
卒業要件:	授業科目の成績評価に基づいて、卒業審査により課程修了の認定を行う。 校長は本校所定の課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。 クリエイター学科 1,700時間(62単位)	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	授業は、講義・演習・実習・実技のいずれかより又はこれらの併用により行うものとする。 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。 本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満と	1 学期の授業期間	20 週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。